

サンデーサイエンス

コーパルを磨いて化石をさがそう

担当：地学研究室

1 内容

コーパルのでき方とその中に入っている化石を観察することで、古生物への興味・関心を高める。

【コーパルとは】

植物の樹脂の化石で琥珀よりも新しい時代のもの。コーパルの主な用途は塗料用のニス原料。色彩は琥珀によく似ているが、両者は別物。コーパルの硬さはアメと同じ程度しかなく、爪で押すと凹む。比重にも差があり、琥珀は海水中に漂うが、コーパルは海水に浮く。琥珀は完全に化石化したもの。コーパルは化石化が不完全で経年変化しやすく柔らかい。

2 準備物

コーパル（マダガスカル産/更新世）

水入り容器、実体顕微鏡

耐水性サンドペーパー（＃400、＃1200）

研磨剤（＃2000）、フェルト

ルーペ、観察用台紙、色鉛筆



コーパル

3 手順

（１）樹液について紹介する。

（２）琥珀，コーパル，カウリガムなど，樹脂に

閉じ込められたさまざまな化石について紹介する。

（３）コーパルの中から化石が入っている部分を探して，磨く面を決める。

（４）サンドペーパー＃400 を用いて，水をつけながらコーパルを削って平面をつくる。

（５）サンドペーパー＃1200 を用いて，水をつけながらコーパルを磨く。

（６）フェルトに研磨剤を少量つけて，水をつけながらコーパルを磨き上げる。

※ルーペなどで観察しながら，複数の面を研磨する。

（７）ルーペや実体顕微鏡（透過）でコーパルを観察する。

（８）観察できた化石を台紙にスケッチする。



みがく前のコーパル



みがく前のコーパル



みがいた後のコーパル



ヤスデ

4 注意点

・サンドペーパーで指を削らないように注意する。